

福岡市博物館

Fukuoka City Museum

年間スケジュール

2023 — 2024

特別展

黒田侯爵家の名品



	2023年4月	5月	6月	7月	8月	9月
特別展示室	3.11(土) 驚異と怪異——想像界の生きものたち 5.14(日)		6.9(金) 鈴木敏夫とジブリ展 また、会えたね!		8.31(木)	9.15(金) ~11.5(日) 黒田侯爵家の名品
常設展示室	FUKUOKA アジアに生きた都市と人びと			FUKUOKA アジアに生きた都市と人びと		
企画展示室 1	変わり兜展5—新収蔵の甲冑と武具— 5.28(日)		5.30(火) 戦争とわたしたちの暮らし32 7.9(日)	7.11(火) 地図と絵で見る海と船の福岡藩展 9.3(日)	9.5(火) 嶋井家文書の世界 ~11.5(日)	
企画展示室 2 (黒田記念室)	殿様からの贈り物 5.21(日)		5.23(火) 小絵馬—祈りと願いの図像学— 7.17(月・祝)	7.19(水) 没後400年 黒田長政 9.10(日)	9.12(火) 古代の度量衡 ~11.5(日)	
黒田家名宝展示	貝原益軒と東野夫人の書跡 4.11(火)	11代藩主黒田長濤の本草図 5.21(日)	5.23(火) 福岡藩主の奉納・興行連歌 7.2(日)	7.4(火) 太刀 銘 — 伝吉岡一文字 8.20(日)	8.22(火) 黒田家御旗御幕の図と御旗書 ~10.1(日)	
企画展示室 3	防人たち 4.23(日)	4.25(火) 考古学のキホン 6.25(日)	6.27(火) 館蔵仏教美術展 9.3(日)	9.5(火) タイ陶磁器展 ~11.5(日)		
企画展示室 4	土器 ni どきどき—つくる・つかう・はこぶ— 6.11(日)		6.13(火) 博多祇園山笠展22/幔幕3—山笠と幔幕— 8.15(火)	8.17(木) 斧と鋏 ~11.5(日)		

春季～夏季の特別展のごあんない

特別展示室 3.11(土)～5.14(日)

驚異と怪異 想像界の生きものたち

世界の人々は常識や慣習から逸脱した「異」なるものを、どのように認識し、説明し、描いてきたのでしょうか。本展は、人魚や龍、河童など、想像界の生きもの多様性について絵画や書籍、祭具などをとおして紹介し、人間の想像と創造の力の源泉を探ります。奇妙で怪しい、不気味だけれどかわいい、世界の靈獣・幻獣・怪獣が大集合!



▲ 左から九千坊像・沙悟浄像/馬場瀬神社蔵

特別展示室 6.9(金)～8.31(木)

鈴木敏夫とジブリ展 また、会えたね!

高畑勲・宮崎駿両監督と共に、世界を代表する数々のアニメーション映画を世に送り出してきたスタジオジブリ・プロデューサー鈴木敏夫。本展では、時代を駆け続けている鈴木が出会った映画作品、書籍と、それとおして見えてくる時代背景に注目しました。特に福岡からの初展示「鈴木敏夫が見てきた映画コーナー」は必見です。



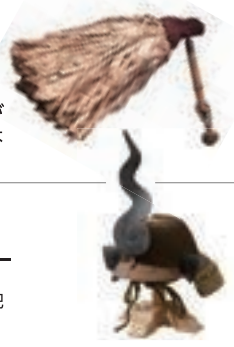
©RENGAYA ©Studio Ghibli

春季～秋季の企画展のごあんない

企画展示室 2 ~5.21(日)

殿様からの贈り物

福岡藩の武士だった家などには、藩主から贈られたものが残されていることがあります。どのようなものが、どのような経緯で贈られたのか、紹介します。



企画展示室 1 ~5.28(日)

変わり兜展5—新収蔵の甲冑と武具—

令和3年までの約10年間に収集した福岡藩土の変わり兜や具足類、武具を一堂に紹介します。



企画展示室 4 ~6.11(日)

土器 ni どきどき—つくる・つかう・はこぶ—

遺跡で最も多く出土するのが土器。でも土器なんか見て何が楽しいの? そんな声にお応えして、土器鑑賞がちょっと楽しくなる「どきどき」ポイントを紹介します。



企画展示室 3 4.25(火)～6.25(日)

考古学のキホン

展示室で時代ごとに陳列されている土器や石器。でも、どうやって使われていた時代をつきとめたのでしょうか? 本展示では、考古資料の新旧を決める研究方法について紹介します。



企画展示室 2 5.23(火)～7.17(月・祝)

小絵馬—祈りと願いの図像学—

人々が祈りや願いを込めて奉納する小絵馬。そこには様々な図柄が描かれ、人々の生活と信仰の関係を物語っています。収蔵資料をとおして多種多様な願いのかたちを紹介します。

企画展示室 1 5.30(火)～7.9(日)

戦争とわたしたちの暮らし32

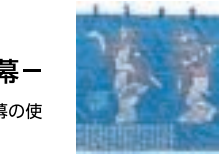
昭和20年6月19日の「福岡大空襲」に関連して、戦争の時代の福岡を振り返る展示。32回目となる今回は、教科書や絵などから戦時の子どもの暮らしを紹介します。



企画展示室 4 6.13(火)～8.15(火)

博多祇園山笠展22/幔幕3—山笠と幔幕—

山笠の期間になると、町中で目にする幔幕。山笠における幔幕の使い方や、幔幕に描かれたものについて紹介します。



企画展示室 3 6.27(火)～9.3(日)

館蔵仏教美術展

福岡市博物館が所蔵・保管する仏教美術のうち彫刻や工芸品を公開します。「エッ?こんなもの持ってたの…」と思わず呟いてしまう、意外なお宝との出会いにご期待ください。



企画展示室 1 7.11(火)～9.3(日)

地図と絵で見る海と船の福岡藩展

博多湾に面した城下町福岡から、長崎に、江戸・上方に、日本海に、様々な船に乗って動いていた、江戸時代の福岡藩の人々や産物などを、当時の地図や絵画で紹介いたします。



企画展示室 2 7.19(水)～9.10(日)

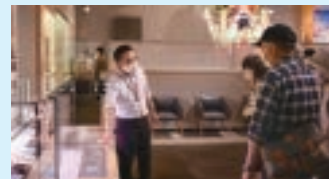
没後400年 黒田長政

福岡藩初代藩主・黒田長政の没後400年を記念して、長政ゆかりの文化財を紹介します。



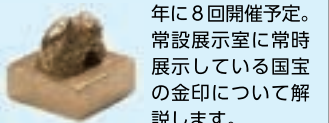
イベントのごあんない

ギャラリートーク



2階常設展示室内にて、学芸員が展示資料について解説します。事前予約不要、参加費無料です(常設展示室の観覧料は必要です)。※詳細はホームページ・SNS等でお知らせします。

国宝 金印「漢委奴国王」



年に8回開催予定。常設展示室に常時展示している国宝の金印について解説します。

テーマでめぐる常設展

年に4回開催予定。広報誌「Facata」の特集「テーマでめぐる常設展」でとりあげた資料を中心に、展示室を案内します。



みんなのミュージアム

金印のレプリカをつかった封泥体験などの体験イベントを開催します。※イベントの詳細はホームページ等でお知らせします。



福岡ミュージアムウィーク 2023

5.13(土)～5.21(日)

5月18日の「国際博物館の日」に合わせて開催する、福岡市内のミュージアムをお得に楽しむ9日間。期間中、福岡市博物館の常設展示室・企画展示室の観覧料が無料になります。※イベントの詳細はホームページ等でお知らせします。

トワイライトミュージアム

7.22(土)～8.26(土)

期間中の金・土・日・祝日と8月14(月)・15(火)は午後8時まで開館時間を延長します。※入館は、午後7時30分まで。



表紙: 特別展示室 特別展「黒田侯爵家の名品」より黒漆塗桃形大水牛脇立兜 紺糸威丸具足 黒田長知所用(部分)

※予定は変更する場合があります。最新情報は、当館ホームページ・SNS、またはお電話にてご確認ください。

企画展は、歴史・考古・民俗・美術の各分野の学芸員が企画しています。おもに、このような文化財からなる展示です。

